

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第18号 (2008・9)  
事務局川西地区自主防災会

## かがわ自主ぼう ますますの発展を

香川県防災局長 川部英則

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆さん こんにちは。  
夏休みも終わりましたが、今年は  
渇水もあり、大変暑い夏になりました。  
例年より早い梅雨明けにいやな予感も  
しましたが、まさか、こんなことになるとは。

そういえば、被災地の報道もそのような  
コメントが多いような気がします。今夏の  
神戸市の都賀川や東京都内の下水管工事  
での水難事故などは、普段、考えられない  
ものでした。油断をしていたわけではない  
でしょうが、改めて自然の怖さを思い  
知らされました。



さて、今年はオリンピック・イヤーです。  
本県も北京五輪の事前合宿地になりました。  
鍛え抜かれた選手たちの肉体と妥協を許さ  
ない練習風景に、防災と同じものを感じ  
ました。普段の練習、鍛錬、訓練が重  
要、つまりは、普段の備えを万全にと  
うことでしょうか。

①H19香川県総合防災訓練  
(本部長の知事が現地入り)

私も、遅ればせながら、自宅の耐震改修  
に取り組んでいます。亡き父の思いがこ  
もった母屋の改修もあと少し。地盤調  
査の後、柱や屋根裏の梁の組み方、床  
下の状況等を念入りに調べ、専門の先  
生に計算してもらい、……補強、改修工  
事。言葉で言えば簡単ですが、ここま  
でにかなりの手間と時間がかかりまし  
た。途中で挫折しそうにもなりましたが  
、やっとゴールが見えてきました。何事  
も小さなことの積み重ねが大事だなあ  
とつくづく思います。

かがわ自主ぼう連絡協議会も、結成1年  
半を迎え、この間、着実に進化を遂げ  
られています。どうか今後とも、ステ  
ップを一段ずつクリアされ、全国に「  
かがわ自主ぼう」ありと言われるよう  
ご尽力をお願いいたします。

九月は防災の日、防災週間……各地  
で訓練などが繰り広げられます。皆さ  
まにも改めて気を引き締めていただき  
、いざというときに備えていただくと  
ともに、会員の皆さんの結束を強め  
、着実な飛躍、発展を遂げられます  
ようお願いし、あいさついたします。



②H19香川県総合防災訓練  
(地元自主防も訓練に参加)

# 日本で暮らす外国の人は避難できるのでしょうか？ ～震災に学ぶ多文化共生を目指そう～

言葉が分からない日本で、大地震にあったとしたら？

助け合えたケースがあった一方で、つらい思いをした人たちも

阪神淡路大震災当時、神戸には、たくさんの外国籍の人が暮らしていました。「外国人登録」という正式の届け出をしている人だけで約 44,000 人いたそうです。その中には、お父さんやおじいさんの代から日本に住み着いて、国籍が違うことを除けば言葉や生活習慣など、日本人と変わらない人もいました。しかし来日してから日が浅く、日本語があまりうまくない人もいました。地震の時の対応はさまざまでした。

日本に長く住み、日本語が上手な人たちは、近くの学校など、指定された避難場所に行きました。いくつかの避難所には、外国人のボランティアも来ていて、日本人も外国人も分け隔てなく助け合えたといいます。

外国人学校では、その国の被災者だけでなく、近隣に住んでいた日本人を受け入れ、学校に届いた救援物資を近所の人にも分けてくれました。それまでは「言葉の壁」があり、あまり近隣との交流もなかったのですが、震災で大変なめにあった者同士、助け合おうという気持ちが芽生えたのでしょう。

その一方で、「ニューカマー」と呼ばれる、日本に来て日が浅い人たちは、どこに逃げれば良いのか分からず、途方にくれました。

日本人と言葉がうまく通じ合えないため、一時は嫌悪なムードになりかけたが、ボランティアの支援もあって、1 か月ほどで「自治会」が結成されました。共同生活のルールが決まった後は、次第に仲良くなったそうです。

あちこちで助け合う姿が見られ、お互いのことをもっと知ろうという気風が見られました。日本人とは違う文化を持つ外国人の人たちを排除せずに生きる「多文化共生」が神戸では震災後のより良い社会づくりの目標の一つになっています。

いくつかの自治会では「災害時の外国人避難」という課題を真剣に考え、通訳など、支援体制を整えた特別の避難所の設置を検討しています。いろいろな事情の人がいますから、出来るだけたくさんの手立てをしておく必要があります。

非常時にうまく対応するためには、ふだんから外国の人たちと交流を重ねておくことが大事です。外国の人を、同じ地域に住む仲間と考え、多文化共生のまちづくりを目指しましょう。

12 歳からの被災哲学 78 の知恵（阪神・淡路大震災に学ぶ） 河田恵昭京都大学防災研究所  
巨大災害研究センター長他監修の本参照



川西夏祭りでの交流模様 8月16日



城辰小学校訓練に参加模様  
2月27日

## お知らせ

1. 本年度かがわ自主ぼう研修会は10月11日（土）14時から、丸亀市川西町南307番地「サンビレッジ土器川」に於いて、前総務省消防研究センター所長で関西学院大学総合政策学部室崎益輝教授による講演を予定しています。当日の夕方、土器川いも炊き大会もあり、研修終了後に試食コーナーも設ける予定です。次号に参加案内を、更には参加募集を9月中旬ごろ開始します。



2. 県では、平成20年度香川県総合防災訓練を9月1日（月）県消防学校（高松市生島町）にて実施します。ぜひご来場下さい。

◇ 想定訓練 南海地震による震災対策訓練

◇ 訓練の特徴

- 自主防災組織と小学生児童による連携訓練
- 地震警報機を用いた余震対策訓練の実施
- 地震湖の決壊に備えた水防工法訓練の実施

◇ 訓練日時（第2部） 平成20年9月1日（月） 10:00～12:00

### 昨 年 の 訓 練 模 様

